

「富谷市地域公共交通計画（素案）」に対する協議会委員からの意見概要

※1月29日付け文書「富企号外」にて委員の皆様へ、修正後の（素案）について照会した際のご意見となります。

項目	意見内容	計画（案）への反映状況
P45, 56 基本方針1「市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）」の説明文について	基本方針の修正案：幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通（地下鉄・BRT等）の整備に向けた調査・検討を進めるとともに、民間路線バスも含めた周辺都市へのアクセス利便性を高めるなど、多様な交通手段が選択できる交通環境の実現を目指します。	P45, 56 の基本方針1「市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）」の説明文について下記のとおり反映しております。 なお、都市型自走式ロープウェイに関する記載の追記も含め、全体的な表現を修正しています。 【修正前】 幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通（地下鉄・BRT等）の整備など、周辺都市へのアクセス利便性を高めるとともに、路線バスを含め、多様な交通手段が選択できる交通環境の実現を目指します。 【修正後】 幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通（地下鉄・BRT、都市型自走式ロープウェイ等）の整備に向けた調査・検討を進めるとともに、民間路線バスも含めた周辺都市へのアクセス利便性を高めるなど、多様な交通手段が選択できる交通環境の実現を目指します。

項目	意見内容	計画（案）への反映状況
P58 施策②：バス路線の再編（民間バス路線）	施策②下部の「※施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備に連動して実施」を削除する。 （計画の期間内において評価・検証するための目標値算定が先ず必要であり、路線バスの施策が構想段階の施策を起点としていることは期間内の達成評価にあいまいさを残す恐れがあるため）	P58 の施策②下部に記載の「※施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備に連動して実施」を削除いたしました。
	路線バスの施策は宮城交通と協議のうえで地域総合交通戦略で掲げた内容をブラッシュアップし追加してほしい。	P58 の施策②路線バスの再編（民間バス路線）において、地域総合交通戦略で掲げた施策内容を基に、下記のとおり内容の見直し、修正をいたしました。
	計画全体として新たに路線バスの持続可能性を高める施策がなく（施策⑩⑪は既存施策）、目標とする「持続可能な公共交通サービスの実現」や基本方針①で掲げる「路線バスも含めたアクセス強化」を果たす道筋が描かれていない。	【修正前】 ■取組の概要 ・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせ、一部路線の交通結節点への集約などの検討を行います。 ・ダイヤ調整等による利用者の利便性向上を図ります。 ・市民のニーズ等について交通事業者と情報共有を図ります。
	施策①の表現は新システムの検討に限定されており、施策②以降も含め路線バスの維持強化に向けた表現が「地域総合交通戦略」から大きく後退している。施策②は施策①の進捗に関わらず取り組	【修正後】 ■取組の概要 ・本市の主要な公共交通手段である路線バスについて、路線の維持・確保に向けて関係機関との調整を図ります。

	<p>むべきものであり、その他施策も含め路線バスの維持強化を図る方針とその具体策を明らかにすべきである。2024年問題など環境変化に合わせ地域総合交通戦略時以上に実効性のある取組とすることが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>市民バスとのダイヤ連携や、乗り継ぎ運行の拡大等バス事業者と公共交通に関する市民ニーズの共有を図り、運行サービスの強化を図ります。</u> ・<u>バス停や表示案内の分かりやすさ向上、バス近接情報（運行情報）の周知及び利用促進を図ります。</u> ・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせ、一部路線の交通結節点への集約などの検討を行います。 ・<u>定時運行の妨げとなる幹線道路における渋滞対策について、関係機関・市町村との情報共有を図り、解消に向けた方策について検討します。</u> ・<u>市のイベント等における公共交通の利用促進策について周知を図ります。</u>
<p>P69 評価指標と目標値</p>	<p>計画の推進をもって路線バスの持続可能性を高めるが、判断できる指標として路線バスの利用者数を評価指標に追加すべき。</p>	<p>P69「2. 地域公共交通の利用者数」において、評価指標及び目標値に「民間路線バスの年間利用者数」を新たに追加いたしました。</p>